

# 上州武尊山山行報告

【山行日】2022年7月24(日) 曇り後晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 2,800円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:廣瀬

小林、関、福島、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P4:00＝武尊牧場登山口

P5:40/6:00～キャンプ場 7:00/7:10～東俣分岐 7:10

～避難小屋 8:20～クサリ場 9:40～中ノ岳分岐

10:00～武尊山 10:30/11:10～中ノ岳分岐 11:40

～クサリ場 12:10～東俣分岐 14:00～キャンプ場

14:25/14:35～武尊牧場登山口 P15:05/15:20＝道の駅「川場田園プラザ」15:15/15:35＝岩舟支所

P17:00



去年の山行アンケートで上州武尊山のリクエストがあり計画したが、雨で中止となりリベンジ山行で今回のコースを計画した。前回は武尊神社から武尊山に登り、剣ヶ峰山を周回するコースを登ったので、今回は反対側の旧武尊牧場スキー場から登ることにした。以前は下りでスキー場のリフトを利用できたが、現在はスキー場が廃業したため往復9時間25分のロングコースを歩く。岩舟支所を4時に出発し、関越道沼田ICで降りて旧武尊牧場スキー場駐車場に車を止める。広い駐車場には立派なトイレが設置されているが、ここから登る登山者は少なく車は2台しか止められていない。トイレを済ませストレッチを行なったら出発し、キャンプ場までは広い舗装道路を登って行く。旧スキー場の中の道路を歩くので、花を見ながら楽しく登れる。1時間でキャンプ場に到着し休憩するが、キャンプ場には大勢の家族連れがキャンプを楽しみ寛いでいた。コロナ禍でキャンプが人気と聞いていたが、これほど人気があるとは驚きだった。ここから標識に従って左に進み、しばらく平坦な舗装道を進むと牧場を抜け登山道へ入る。ブナやミズナラの自然林の道を緩やかに登ると、赤い三角屋根の避難小屋に着く。この少し先で田代湿原への道を右に分け、左に樹林帯の道を登って行く。笹の道はあまり歩かれておらず、昨夜の雨で濡れていて先頭歩きは露払いで足がビショビショになる。やがて尾根歩くようになり、小湿原を過ぎると展望が良い小ピークに出て、ここがゼビウス岳らしい。



我輩は登山靴の中まで濡れてしまったので、SLに先頭を代わってもらい後ろに下がる。

少し下るとクサリ場が現れ、垂直の岩溝をクサリを頼りに登って行く。この先から展望が開け、目の



前に中ノ岳や前武尊を見ながら気持ちよく歩く。中ノ岳の西側を巻くように進み、左斜面のトラバース道を進むと前武尊からの道と合さり、笹清水と云う水場が現れる。さらに進むと三ツ池があり、マイズルソウ等が見られとても気持ちよく歩ける。ここからは少しきつい登りになって、日本武尊の銅像が立つ稜線に出る。ここまで来れば武尊山頂は目の前で、ほんのひと登りで上州武尊山山頂に出る。山頂からはさえぎる物が無く、谷川岳から尾瀬、日光連山等の大展望が得られる。

大きな山頂標識の前で記念写真を撮り、展望を楽しんだらランチタイムとする。山頂の南側に陣取り、お湯を沸かしてカップ麺やみそ汁を作りおにぎりやパンをいただく。目の前に雪山で登った剣ヶ峰山が望め、前武尊や不動岳を見ながら美味しくいただいた。ランチが済んだら後片付けし、下山開始する。下山は往路を戻り、快調に降りて行く。晴天になって緑や花が鮮やかになり、湿原や池の景色が登りと違って見える。少々クサリ場で手こずったようだが、その後は軽快に下って行く。

ゼビウス岳の先にある小湿原にキンコウカの花が満開で、登りで気が付かなかったがとても綺麗だった。避難小屋まで下れば安心で、ブナの美しい森を緩やかに下ると舗装道に出て、まもなくキャンプ場に着いた。ベンチで最後の休憩を取り、残ったおやつを全て食べたら登山口に向かう。広い舗装道を下ると、Sさんが「途中から牧場の中を下れる」と言う。気乗りしなかったが



H瀬さんも言うので、藪漕ぎして牧場内に付けられた踏み跡まで降り、踏み跡を辿って急坂を下って



行く。思ったより急傾斜で、大腿四頭筋が痛くなったが30分早く下れた。駐車場に着き靴を履き替え、トイレを済ませたら帰路につく。

帰路は川場村経由で沼田ICに向かい、途中にある道の駅「川場田園プラザ」に寄りお買い物。テレビ番組で道の駅No. 1になったそうで、F原さんが大喜び。我輩も採れたてのトウモロコシを買ったが、次の日食べたなら今までで一番甘く美味しいトウモロコシだった。帰路の高速道も順調に走り、岩舟支所に1時間早く帰着出来た。ロングコースを、コースタイムより早く歩

け、この後の北アルプス山行に向けて大きな自信となった。